

主要施策名:(1)道路交通体系の整備

事務事業本数:7

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業コード	事務事業	所管課
④便利で快適な都市づくり	(1)道路交通体系の整備	(1)広域交通ネットワークの整備	411-1	道路改良推進事業	土木課
			411-3	社会資本整備総合交付金事業(道路)	都市整備課
		(2)生活道路網の整備	412-1	道路維持事業	土木課
			412-2	道路メンテナンスサイクル事業(舗装)	土木課
			412-3	道路メンテナンスサイクル事業(小規模道路附属物)	土木課
			412-4	道路新設改良事業	土木課
			412-5	橋りょうメンテナンスサイクル事業	土木課

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	道路改良推進事業		所管課 【2】	土木課
			作成者(担当者)	坂田 拓哉
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	④便利で快適な都市づくり		
	主要施策(節)	(1)道路交通体系の整備		
	施策区分	(1)広域交通ネットワークの整備		
重点 施策 【4】	<input type="checkbox"/> 該当			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 道路法、道路構造令、河川法 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 公共施設等総合管理計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】	款 8 項 2 目 1 細目 1

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	県内道路、河川整備を促進するため、関係市町や団体が連携し、関係省庁や国会議員等に要望活動を行う。 道路法及び河川法で調製及び保管が義務付けられている道路台帳、河川台帳整備を行い、それぞれの管理上の基礎的事項を総合的に把握する。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民。開発業者等。市道。準用河川。玉名市が加入する各種道路・河川整備関係協議会、期成会、会議等。
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	道路網が整備され、経済活動、防災力向上を目指す。 良好な道路、河川管理が可能となり、経済開発活動、災害対策が図られ、住民サービス向上につなげる。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【
事務事業の具体的内容 【14】	道路要望団体に対し、要望活動に参加し、負担金支出を通じて、事業の進捗を支援する。 法定業務である道路台帳、河川台帳を整備し、適切な管理を行う。 期成会事務局を所管し、総会事務の執行及び経理決算を行う。
	【15】 事務事業を構成する細事業(4)本 ⇒ ① 市道認定に関する業務 ② 期成会等負担金支出業務 ③ 道路台帳修正業務委託事業

## 《事務事業実施に係るコスト》

		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	7,607	6,333	13,097	12,392
		【16】 小 計	7,607	6,333	13,097	12,392
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0				
	職人 員 の 費	職員人工数	0.85	0.80	1.00	1.00
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,476	5,223	5,418
会計年度任用職員人工数			0.00	0.00	0.00	
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,632	1,786	
【17】 小 計	4,655	4,381	5,223	5,418		
合 計	12,262	10,714	18,320	17,810		

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① 市道認定に関する業務	市道の認定及び廃止等の処理を行う。	議案提出回数	回	1	1	1	1
② 期成会等負担金支出席務	負担金を支出することにより業務の遂行を図る。	負担金支出回数	回	6	6	6	6
③ 道路台帳修正業務委託事業	道路台帳の修正業務を行う。	市道修正路線件数	件	102	87	0	100

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算
対象(道路台帳修正延長)	10	9	0	10
投入コスト合計(千円)	12,262	10,714	18,320	17,810
対象1単位あたりのコスト(千円)	1,226	1,190	0	1,781
コスト評価(対前年比)	***	103.03% (↑)	0.00% (-)	0.00% (-)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	
1 道路台帳修正実施率	道路台帳の修正延長/市道認定(廃止)延長	%	100	100	100	100
2			100	100	0	

\* 成果未達成時の理由 道路法第28条、同法施行規則第4条の2の規定に基づき、道路台帳を整備しなければならないが、業務委託できなかった。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input checked="" type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価  a 高い b やや高い c やや低い d 低い  b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げることで、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価  a 高い b やや高い c やや低い d 低い  b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input checked="" type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価  a 高い b やや高い c やや低い d 低い  b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( なじまない ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	道路台帳整備においては、年度末での市道認定作業が間に合わず、手法見直しを検討する。期成会活動においては、新型コロナウイルス拡大の影響が引き続きあったが、縮小しつつ実施できた。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	道路台帳整備においては、年度末での委託では工事完了分が反映されないため、事業翌年度に当該年度分を発注するよう手順を見直す。また、行政情報のオープンデータ化に対応した道路GISに向けて道路情報を整理し電子化を進めていく必要がある。期成会活動においては、関係市町団体と連携して推進していく。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	今後も道路台帳修正業務については、適正に台帳の修正をおこなっていく。また、期成会活動についても、インフラ事業の実現・促進のため、関係機関へ積極的な働きかけを展開していく。	評価責任者 田上 幸二
-------------------	---	----------------

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	社会資本整備総合交付金事業(道路)		所管課【2】	都市整備課
			作成者(担当者)	中川英昭
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	④便利で快適な都市づくり		
	主要施策(節)	(1)道路交通体系の整備		
	施策区分	(1)広域交通ネットワークの整備		
重点 施策【4】	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 該当			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input checked="" type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 道路法、土地収用法、河川法、鉄道法 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 社会資本整備総合交付金、国土強靱化計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事业 <input checked="" type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】 款 8 項 2 目 3 細目 18			

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	玉名市は、東西方向を横断する多様な道路を有しているが南北方向を縦断するアクセス道路に乏しい。中心市街地へのアクセス道路や物流・観光の基幹道路、さらに大規模災害時の避難路、緊急輸送路としての道路網の整備が必要である。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	道路利用者
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	各拠点をつなぐ、それぞれの地域の実情に沿った道路の整備を行う。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 年度から】 【 H17 年度～ R3 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	・【岱明玉名線】県道長洲玉名線からJRを高架し旧国道208号までの区間の道路整備を行う。L=1100m、W=14.5m ・【河崎迫間2号線】県道玉名立花線と県道稲佐津留玉名線を接続する区間の道路拡幅を行う。L=615m、W=11m	⇒	【15】 事務事業を構成する細事業(5)本 ① 岱明玉名線道路整備事業(単独) ② 岱明玉名線道路整備事業(補助)(R2線) ③ 岱明玉名線道路整備事業(単独)(R2線)

## 《事務事業実施に係るコスト》

		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	105,672	248,986	25,414	0	1,155,854
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	170,900	311,800	50,400	0	1,934,948
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	38,750	13,490	20,942	0	260,399
		【16】 小計	315,322	574,276	96,756	0	3,351,201
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0					
	職人 員 の 費	職員人工数	1.70	1.60	1.03	0.00	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,476	5,223	5,418	
会計年度任用職員人工数			0.00	0.00	0.00		
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,632	1,786		
【17】 小計	9,309	8,762	5,380	0			
合計	324,631	583,038	102,136	0			

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① 岱明玉名線道路整備事業(単独)	本線、国道、県道、JR橋等の工事を行う。	整備延長	m	0	0	71	0
② 岱明玉名線道路整備事業(補助)(R2線)	本線等の工事を行う。	整備延長	m	0	0	273	0
③ 岱明玉名線道路整備事業(単独)(R2線)	本線等の工事を行う。	整備延長	m	0	0	273	0

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算
対象(整備延長の合計)	384	470	344	0
投入コスト合計(千円)	324,631	583,038	102,136	0
対象1単位あたりのコスト(千円)	845	1,241	297	0
コスト評価(対前年比)	***	68.09% (↓)	417.85% (↑)	0.00% (-)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	
1 岱明玉名線の整備率	計画整備率(事業費ベース)	%	90.4	100	100	—
2			80.3	97.3	100	
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 【22】	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げることで、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由( )	負担率【 0.00 %】 【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	令和2年度からの繰り越しにより事業継続。令和3年5月に岱明玉名線は暫定形にて全線供用開始した。これにより本線道路事業は完了した。橋梁の維持管理を継続して行うための管理用道路工事を行った。また、工事後の補償案件が3件寄せられたが、すべて解決した。これにより、岱明玉名線道路改良事業についてはすべて完了した。				
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 終了	総合判定	B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	河崎迫間2号線については、別途事務事業にて登録してあるため、本事務事業は本年度で完了した。				
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)				

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	評価責任者
交付金事業に関しては、岱明玉名線開通に伴い残事業も含め終了した。	中尾賢治

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	道路維持事業		所管課 【2】	土木課
			作成者(担当者)	中林貴子
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	④便利で快適な都市づくり		
	主要施策(節)	(1)道路交通体系の整備		
	施策区分	(2)生活道路網の整備		
重点 施策 【4】	■ 該当			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input checked="" type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 道路法、玉名市道路占用料徴収条例、玉名市法定外公共物管理条例 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 _____ 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 _____ 】 款 8 項 2 目 2 細目 1			

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	道路管理者は、道路を常時良好に保つよう維持・修繕し、一般交通に支障を及ぼさないようにしなければならないという責務を負っていることから、道路及びこれに付帯する施設の機能を維持する必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	道路利用者
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	道路利用者の安心・安全のため、玉名市道の維持管理・街路樹等の整備を行い、良好な交通環境を維持する。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 _____ 年度】    【 H17 年度から】    【 _____ 年度～ _____ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 _____ 】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 _____ 】		
事務事業の具体的内容 【14】	摩耗・劣化し路面状況が悪化した道路の修繕や道路の除草作業など玉名市道の維持管理を行う。	⇒	【15】 事務事業を構成する細事業( 18 )本 ① 市道維持修繕事業 ② 市道除草業務委託事業 ③ 市道維持管理借上料事業

## 《事務事業実施に係るコスト》

		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		起債	93,600	0	0	0	
		受益者負担	11,012	11,086	11,239	10,850	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	211,195	214,896	231,650	237,770	
	【16】 小 計	315,807	225,982	242,889	248,620	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0					
	職人 員 の 費	職員人工数	8.20	6.65	7.05	7.05	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,476	5,223	5,418	
会計年度任用職員人工数			0.60	0.00	0.00		
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,632	1,786		
【17】 小 計	44,903	37,585	36,822	38,197			
合 計	360,710	263,567	279,711	286,817			



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① 市道維持修繕事業	劣化等した道路の修繕を行う。	道路修繕箇所	箇所	169	172	188	210
② 市道除草業務委託事業	委託により道路の除草作業を行う。	市道除草委託件数	件	13	15	12	14
③ 市道維持管理借上料事業	生活道路を整備するものに対し、機械借上料を支給する	機械借上件数	件	160	236	207	250

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	対象(市民)	R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算
		投入コスト合計(千円)	66319	65817	65189
	対象1単位あたりのコスト(千円)	360,710	263,567	279,711	286,817
	コスト評価(対前年比)	5	4	4	4
		***	125.00% (↑)	100.00% (→)	100.00% (→)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	R04実績
1 市道除草業務委託面積	除草を行った面積	㎡	357067	358316	370077	374644
2 未登記関係処理件数	未登記関係の処理件数(筆数)	件	25	34	40	35
			59	32	31	
* 成果未達成時の理由		未登記関係の課題等(相続問題)もあり目標値には届かなかった。成果は、筆数の広さ等も関係し処理件数では計れない。				

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input checked="" type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 4.02 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(市が行う事業であるため) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	要望箇所については、計画的に修繕等を行ったが、安全施設等が予定より実行出来なかった。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	今後は、要望箇所の修繕を効率的に行ない、安全対策及び減災対策を計画的に実施していきたい。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	今後も業務の改善を図り、効率的なメンテナンスサイクルで、財政負担を軽減しながら修繕を行っていく。	評価責任者 田上 幸二
----------------------	--	----------------

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	道路メンテナンスサイクル事業(舗装)		所管課 【2】	土木課
			作成者(担当者)	増永 美由紀
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	④便利で快適な都市づくり		
	主要施策(節)	(1)道路交通体系の整備		
	施策区分	(2)生活道路網の整備		
重点 施策 【4】	■ 該当			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input checked="" type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 道路法、道路法施行令、道路法施行規則 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市公共施設等総合管理計画、道路メンテナンスサイクル(舗装)計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事业 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】	款 8 項 2 目 2 細目 2

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	2012年の笹子トンネルの崩落事故を受け、インフラ老朽化対策が急務となった。 そんな中、現在の乏しい財源で市民生活を根底から支えるライフラインを永続して維持管理していかなければならない。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市道利用者(市民全般)
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	ライフライン(市道)の中で舗装に着目し、永続して維持管理することで第三者被害を防止する。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度 】 【 R2 年度から 】 【 年度～ 年度まで 】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【
事務事業の具体的内容 【14】	舗装のメンテナンスサイクル(点検→診断→措置→記録)を確立し運用していく。
	【15】 事務事業を構成する細事業(9)本 ⇒ ① 道路メンテナンスサイクル(舗装)措置1 ② 道路メンテナンスサイクル(舗装)措置1 R2補正 ③ 道路メンテナンスサイクル(舗装)措置2

## 《事務事業実施に係るコスト》

		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	42,646	102,000	133,297	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	162,000	192,000	220,601	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	19,687	26,914	37,708	0
		【16】 小 計	0	224,333	320,914	391,606	0
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0					
	職人 員 の 費	職員人工数	0.00	1.70	1.90	1.90	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,476	5,223	5,418	
会計年度任用職員人工数			0.00	0.00	0.00		
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,632	1,786		
【17】 小 計	0	9,309	9,924	10,294			
合 計	0	233,642	330,838	401,900			



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① 道路メンテナンスサイクル(舗装)措置1	損傷の進行が早い道路に対し交付金事業を活用し舗装工事を行う。	工事発注件数	件	***	8	6	16
② 道路メンテナンスサイクル(舗装)措置1 R2補正	損傷の進行が早い道路に対し交付金事業を活用し舗装工事を行う。	工事発注件数	件	***	***	5	***
③ 道路メンテナンスサイクル(舗装)措置2	損傷の進行が早い道路に対し市単独費で舗装工事、側溝改良工事及び区画線工事を行う。	工事発注件数	件	***	22	24	22

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算
対象(施工延長)	0	5544	6850	8330
投入コスト合計(千円)	0	233,642	330,838	401,900
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	42	48	48
コスト評価(対前年比)	***	0.00% (ー)	87.50% (↓)	100.00% (→)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	R04実績
1 舗装整備延長	整備した市道の路線延長	m	***	4820	5320	6740
			***	4967	6144	
2 側溝改良整備延長	側溝改良した市道の路線数	m	***	660	830	790
			***	577	706	

\* 成果未達成時の理由 舗装工事を優先的に実施したため

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input checked="" type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げることで、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 道路法に定められている ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	交付金だけでなく公共施設等適正管理推進事業債や緊急自然災害防止対策事業を活用し事業を実施することができた。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	引き続き、舗装長寿命化修繕計画に基づく措置及び地元要望に対して計画的な措置を行っていく。また、舗装メンテナンスサイクルが永続していけるよう、より良い点検・診断・措置・記録の方法を検討していく。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	交付金や公適債を活用し、効率的なメンテナンスサイクルで、財政負担の縮減を行いながら、修繕を行っていく。	評価責任者 田上 幸二
-------------------	---	----------------

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	道路メンテナンスサイクル事業(小規模道路附属物)		所管課【2】	土木課
			作成者(担当者)	増永 美由紀
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	④便利で快適な都市づくり		
	主要施策(節)	(1)道路交通体系の整備		
	施策区分	(2)生活道路網の整備		
重点 施策【4】	■ 該当			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input checked="" type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 道路法、道路法施行令、道路法施行規則 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市公共施設等総合管理計画、玉名市小規模附属物長寿命化修繕計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事业 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】【 款 8 項 2 目 2 細目 3			

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	2012年の笹子トンネルの崩落事故を受けインフラ老朽化対策が急務となった。そんな中、現在の乏しい財源で市民生活を根底から支えるライフラインを永続して維持管理していかなければならない。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民利用者(市民全般)
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	ライフライン(市道)の中で小規模道路附属物(照明灯・道路標識)に着目し、永続して維持管理することで第三者被害を防止する。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 R2 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】【		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】【		
事務事業の具体的内容 【14】	小規模道路附属物のメンテナンスサイクル(点検→診断→措置→記録)を確立し運用していく。	⇒	【15】 事務事業を構成する細事業(4)本 ① 道路メンテナンスサイクル事業(小規模道路附属物)点検・診断 ② 道路メンテナンスサイクル事業(小規模道路附属物)措置 ③ 道路メンテナンスサイクル事業(小規模道路附属物)記録

## 《事務事業実施に係るコスト》

		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	6,477	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	600	800
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	0	7,124	157	166
		【16】 小計	0	13,601	757	966
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		0			
	職人 員 の 費	職員人工数	0.00	0.65	0.30	0.30
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,476	5,223	5,418
会計年度任用職員人工数			0.00	0.00	0.00	
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,632	1,786	
【17】 小計	0	3,559	1,567	1,625		
合計		0	17,160	2,324	2,591	

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① 道路メンテナンスサイクル事業(小規模道路附属物)点検・診断	片持ち式(道路照明施設187基・道路標識61基)に対し定期点検を行う。	施設点検数	件	***	103	***	***
② 道路メンテナンスサイクル事業(小規模道路附属物)措置	小規模附属物(道路照明施設、道路標識)の点検結果により措置(更新・修繕)を行う。	措置発注件数	件	***	***	2	14
③ 道路メンテナンスサイクル事業(小規模道路附属物)記録	管理台帳内容に変更が生じた小規模附属物(道路照明施設、道路標識)の更新を行う。	施設の更新登録件数	個所	***	238	22	2

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	対象(市民)	R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	
		投入コスト合計(千円)	0	65817	65189	64303
	対象1単位あたりのコスト(千円)	0	17,160	2,324	2,591	
	コスト評価(対前年比)	0	0	0	0	
		***	0.00%	(-)	0.00%	(-)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	
1 小規模附属物(道路照明施設、道路標識)の補修・更新件数	補修・更新した個所数	個所	***	***	2	14
2			***	***	2	

\* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input checked="" type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価  a 高い b やや高い c やや低い d 低い  b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げることで、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価  a 高い b やや高い c やや低い d 低い  b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価  a 高い b やや高い c やや低い d 低い  b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 道路法で定められている ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	玉名市小規模附属物長寿命化修繕計画に基づき過年度点検・診断した施設の中で対策が必要と判断された施設の内、照明灯2基の措置を行った。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	今後も玉名市小規模附属物長寿命化修繕計画に基づいて、要対策施設の措置と台帳の更新など適切な維持管理を行っていく。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	小規模附属物長寿命化修繕計画に基づき、財政負担の軽減を図りながら、効率的なメンテナンスサイクルで維持管理を行っていく。	評価責任者 田上 幸二
----------------------	---	----------------

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	道路新設改良事業		所管課 【2】	土木課	
			作成者(担当者)	山下 昌三	
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	④便利で快適な都市づくり			重点 施策 【4】 ■ 該当
	主要施策(節)	(1)道路交通体系の整備			
	施策区分	(2)生活道路網の整備			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 道路法、土地収用法 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 地元区長からの陳情書、要望書 】 <input type="checkbox"/> 該当なし				
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事业 <input checked="" type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務				
会計区分 【7】	■ 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】	款 8	項 2
				目 3	細目 1

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	地元からの要望に対して、市道の幅員狭小、その他交通障害などを改善していく必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	道路利用者
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	快適な道路環境や安全性を確保する。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】    【 H17 年度から】    【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【    】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【    】		
事務事業の具体的内容 【14】	地元要望等を受け、緊急度の高い順に拡幅、路面舗装などの改良事業を実施する。	⇒	【15】 事務事業を構成する細事業( 6 )本 ① 市道新設改良設計委託事業 ② 市道新設改良事業 ③ 市道新設改良工事用地購入事業

## 《事務事業実施に係るコスト》

		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		起債	226,992	241,407	176,100	178,200	822,699
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	60,455	17,946	23,839	21,800	124,040
	【16】 小 計	287,447	259,353	199,939	200,000	946,739	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0					
	職人 員 の 費	職員人工数	3.10	2.60	2.10	2.00	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,476	5,223	5,418	
会計年度任用職員人工数			0.00	0.00	0.00		
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,632	1,786		
【17】 小 計	16,976	14,238	10,968	10,836			
合 計	304,423	273,591	210,907	210,836			



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① 市道新設改良設計委託事業	現道の測量・計画路線の設計を委託する。	委託発注件数	件	15	3	10	4
② 市道新設改良事業	道路改良工事を発注する。	工事発注箇所数	箇所	17	10	12	14
③ 市道新設改良工事用地購入事業	計画路線に伴う用地の買収を行う。	用地買収件数	件	25	34	24	25

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算
対象(整備路線数)	17	10	12	14
投入コスト合計(千円)	304,423	273,591	210,907	210,836
対象1単位あたりのコスト(千円)	17,907	27,359	17,576	15,060
コスト評価(対前年比)	***	65.45% (↓)	155.66% (↑)	116.71% (↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	
1 整備路線数	整備した市道の路線数	箇所	22	20	14	14
2			17	10	12	

\* 成果未達成時の理由 用地買収等の理解が得られず、路線数が減少した。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 【22】	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げることで、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い a
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由( )	負担率【 0.00 %】 【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	道路拡幅を行ったことにより、地域住民及び道路利用者の利便性を高め、安心・安全に通行できる道路整備を行った。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	今後は、道路拡幅及び要望書の見直しを行い、予算内で安心・安全に通行できる道路整備を行っていく。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	評価責任者
今後も限られた予算の有効な活用を行いながら、インフラ施設の計画的な整備に努める。	田上 幸二



# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	橋りょうメンテナンスサイクル事業		所管課【2】	土木課
			作成者(担当者)	木下 義昭
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	④便利で快適な都市づくり		
	主要施策(節)	(1)道路交通体系の整備		
	施策区分	(2)生活道路網の整備		
重点 施策【4】	■ 該当			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 道路法、道路法施行令、道路法施行規則 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 第2次玉名市橋梁長寿命化計画、玉名市公共施設等総合管理計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】 款 8 項 2 目 4 細目 1			

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	2012年の笹子トンネルの崩落事故を受け、インフラ老朽化問題が急務となった。特に橋梁においては2014年の省令告示によって、管理橋梁全てを対象として1橋ごとにメンテナンスサイクル(点検→診断→措置→記録→次の点検)を永久に回すことが義務化された。これは橋梁が損傷してから更新する従来の事後保全型から脱却し、定期点検により劣化を発見して早期修繕することにより長寿命化を図る予防保全型へ変革義務を意味している。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	橋梁利用者、市道橋
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	道路上の市道橋全てにおいて、1橋ごとにメンテナンスサイクルを永続し、長寿命化修繕計画を見直すことで、メンテナンスサイクルのスパイラルアップを目指す。さらに、玉名市独自の橋梁アセットマネジメントを用いて、措置費用のコスト縮減、確実な措置の進捗およびメンテナンスサイクルのスパイラルアップを行う。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H26 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】
事務事業の具体的内容 【14】	管理市道橋全ての1巡目の点検診断を2018年度までに完了した。この診断結果に応じて、診断Ⅳ(緊急措置段階)は速やかに措置し、診断Ⅲ(早期措置段階)は点検から5年以内に措置を完了する責務がある。また、2020年度までに個別施設計画(第2次橋梁長寿命化修繕計画)の策定する責務があり策定済み。一方、国からの指示で2022年度までに橋梁長寿命化計画の更新をする責務がある。点検診断については2019年度より2巡目に着手しており2023年度までに完了する責務がある。
	【15】 事務事業を構成する細事業(9)本 ⇒ ① 橋梁補修及び補強工事業(措置) ② 橋梁補修設計及び調査業務委託(措置) ③ 点検・診断事業

## 《事務事業実施に係るコスト》

		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	55,539	49,716	38,073	96,828	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	24,600	53,900	32,700	72,500	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	64,285	26,272	44,298	41,020	0
		【16】 小計	144,424	129,888	115,071	210,348	0
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0				
	職人 員 件 の 費	職員人工数	4.20	3.70	4.10	4.10	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,476	5,223	5,418	
会計年度任用職員人工数			0.00	0.00	0.00		
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,632	1,786		
	【17】 小計	22,999	20,261	21,414	22,214		
	合計	167,423	150,149	136,485	232,562		

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画
① 橋梁補修及び補強工事事業(措置)	診断Ⅲ(早期措置段階)以上の橋梁に対して、診断から5年以内に措置を完了する。	診断Ⅲ以上の橋梁数に対する措置完了橋梁数	橋	40/1	42/8	42/14	42/38
② 橋梁補修設計及び調査業務委託(措置)	交付金を活用して橋梁補修・補強工事を行うために必須条件となる設計業務委託を行うものである。	業務委託発注数	本	1	1	1	0
③ 点検・診断事業	省令告示により義務化された近接目視による点検を行い診断する業務	全体橋梁数における点検診断の進捗率	%	21/20	41/40	62/60	84/80

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	対象(市道橋の管理橋梁数)	R01年度決算		R02年度決算		R03年度決算		R04年度予算	
		投入コスト合計(千円)	対象1単位あたりのコスト(千円)	コスト評価(対前年比)	R01実績	R02実績	R03実績	R04計画	
		833	201	***					
		167,423	201	***	111.67% (↑)	136,485	164	109.76% (↑)	232,562
		201	201	***	111.67% (↑)	164	164	109.76% (↑)	279
		***	***	***	111.67% (↑)	109.76% (↑)	109.76% (↑)	109.76% (↑)	58.78% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R01目標	R02目標	R03目標	R04目標
			R01実績	R02実績	R03実績	R04実績
1 毎年国が道路メンテナンス年報として公表している修繕着手率(%)	修繕着手率は診断Ⅲ以上の橋について、補修設計の着手も含めて着手しているかの指標	%	80	100	100	100
2 点検により早期措置段階と診断された橋梁の措置件数	診断Ⅲ(早期措置段階)以上の劣化橋梁に対して、一般的なレベルの措置が完了した橋梁数	橋	1	8	14	38
			40	42	42	42

\* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input checked="" type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価  a 高い b やや高い c やや低い d 低い  b
	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げることで、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価  a 高い b やや高い c やや低い d 低い  a
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価  a 高い b やや高い c やや低い d 低い  b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 受益者の設定方法の問題、および、徴収に対する法的精査が必要である。 ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	第3回インフラメンテナンス大賞に続き、本市の橋梁メンテナンスの取組みが土木学会の土木学会賞の論文賞を受賞し、さらには、土木学会の建設マネジメント委員会より、グット・プラクティス賞を受賞した。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	全国的な先進事例として評価を得ている本事業は、一般的に参考とする専門示方書の範囲以上の先進的な研究や技術や手法を実装している。この実状は本来専門有識者の業務範疇に該当するため、本事業の評価および分析を、専門知識を有する有識者と長期にわたり検証する必要がある。同様に、コスト削減においても、工学的な観点からの精査、および評価を得る必要が残っており、喫緊の課題である。このような検証こそが地域住民へのアカウンタビリティの責務である。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	第3回インフラメンテナンス大賞に続き土木学会からも受賞した。全国的に高い評価を得ており、今後もトップランナーとしてこの取り組みを継続していく。	評価責任者 田上 幸二
----------------------	---	----------------